

医学教育専門家 認定用ポートフォリオについて

京都大学 錦織宏・柴原真知子

筑波大学 春田淳志 新潟大学 渡邊洋子

岐阜大学 藤崎和彦

認定用ポートフォリオ作成ガイド

- 学会のHPからダウンロードして、よく読んでからレポートを作成して下さい

日本医学教育学会

医学教育専門家

—認定用ポートフォリオ作成ガイド—

Ver 1.2

2015年12月1日 改訂

ポートフォリオ

- 定義：学習者の成果や省察の記録、メンターの指導と評価の記録などをファイルに蓄積・整理していくもの
- もともとは「紙ばさみ」の意
- 教育活動の記録を色々な形ではさんでいく
 - 作った教材・講義のビデオ・試験問題・学生へのアンケート結果・教育研究論文などなど

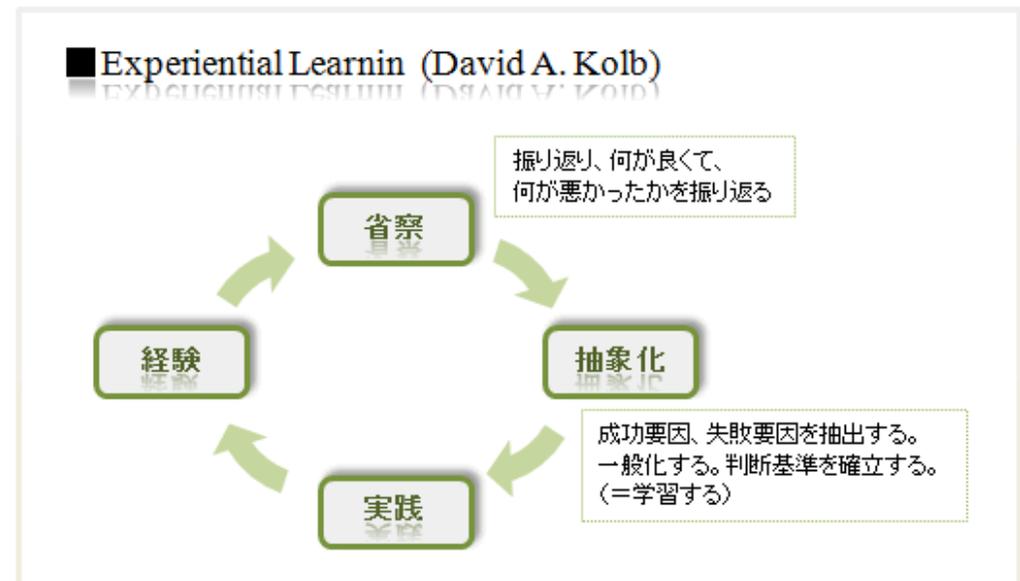
西岡加名恵. 教科と総合に活かすポートフォリオ評価法—新たな評価基準の創出に向けて. 図書文化社. 東京. 2003.

学習ポートフォリオ

- 「振り返り」を含めることが必須であり、もともと学びをサポートする目的で開発
- Kolbの経験学習論
- あまり構造化されていない

Davis MH, Ponamperuma GG.
Portfolios, dissertations and projects.
In Dent JA and Harden RM.

A Practical Guide for Medical Teachers. Third Edition. Elsevier. 2009.



評価ポートフォリオ

- (学習ポートフォリオより) 構造化されている
 - 講義：教育目標・教育方法・教育内容・評価・学習環境など
 - 試験：評価法選択の理由・妥当性・信頼性・実現可能性など
- アウトカムが記述され、それが達成できたかどうかを評価することが目的

Davis MH, Ponamperuma GG. Portfolios, dissertations and projects. In Dent JA and Harden RM. A Practical Guide for Medical Teachers. Third Edition. Elsevier. 2009.

ティーチングポートフォリオ

- 自らの教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様なエビデンスによってこれらの記録を裏付けた、教育業績についての厳選された記録
- 教育の持つ「多面性」をできるだけ残して「見える化」(＝評価可能な形)にする

独立行政法人大学評価・学位授与機構. 日本におけるティーチング・ポートフォリオの可能性と課題. 評価結果を教育研究の質の改善・向上に結びつける活動に関する調査研究会報告書. 2009年3月.

医学教育専門家認定用ポートフォリオ

- 自らの教育活動について他人にわかるように記述し、自らの言葉で振り返り、多様なエビデンスによってこれらを裏付けた、教育業績についての厳選された記録

認定用ポートフォリオのイメージ

	学習ポートフォリオ Learning Portfolio	評価ポートフォリオ Assessment Portfolio
Teachers Portfolio どう教えているの か？	5%	75%
Learners Portfolio 教育についてどう学 んでいるか？	5%	15%

認定申請に必要なもの

- 教育実践・振り返りレポート(3/4項目)
 - 1) 教育と学習(Teaching and Learning, TL)
 - 2) 学習者評価(Assessment, A)
 - 3) カリキュラム開発(Curriculum Development, CD)
 - 4) その他(Others)
- コース後レポート
- 学術活動の成果
 - 研究発表・事例など、学会発表や論文を含む
- 教育履歴
 - 1)教育経験に関する業績リスト
 - 2)医学教育者としてのキャリアヒストリー

教育実践・振り返りレポート 何をどのように記載すればよいか？

- 自分自身の教育活動の中から、
TL/A/CD/OTの領域ごとにそれぞれ事例を
一つ選択する
- 「何をやったか？（教育実践事例）」と「で
どうだったのか？（振り返り）」について記
載する
- 引用文献・図表を入れてワードで3～4枚
- 詳しくは作成ガイド参照

教育実践・振り返りレポート

■ 教育と学習(TL)

- 原則として、一つの内容の1回の授業や実習などの教育実践

■ 学習者評価(A)

- 総括的評価、ないしはそれに準じた学習者の評価

■ カリキュラム評価(CD)

- 一連の内容を、複数回にわたって行った教育実践について、カリキュラムの開発と評価

教育実践・振り返りレポートを記述する際の の注意点

- 自施設の文脈を全く知らない人でもわかるように記載する
- 研究論文ではないので新規性は不要
- 振り返りは、「私」を主語にしたナラティブな自己省察と、医学教育学の文献を適宜引用した学術的考察をバランスよく
 - ナラティブな自己省察は書き慣れていないことが多い

教育実践・振り返りレポートのフォーマット ～Teaching and Learningの場合～

■ <教育実践事例>

- 事例選択の理由
- 当該実践におけるあなたの役割やコミットメント
- 担当期間
- 実践の具体的内容

■ <振り返り>

- 実践についての他者評価
- 実践についての自己評価

教育実践・振り返りレポート

- 実際の例を見てみましょう
- TL/A/CD

学術活動の成果

- 学会発表や論文のフォーマットに準じている
- 研究者にはより書きやすい（と思われる）
- 具体的な例も見てみましょう

教育経験に関する業績リスト

- フォーマットを見てみましょう

キャリアヒストリー

- 医師または専門家としてのプロセスマップ
 - キャリアの抄録（言語化と見える化）
- 医学教育者としてのキャリアをどう形成してきたか
 - キャリアのナラティブ（NHKのプロジェクトX/プロフェッショナルみたいなイメージ）

FAQ（よくある質問）

- 自分の関わっている教育はもう精一杯やっているの
で、これ以上改善の余地はない。

→世の中に「ベストな教育」というものはありません。全ての教育に「良い点」と「改善すべき点」があります。ご自身の教育活動を振り返ってもらえることが出来るようになることが、医学教育専門家として重要な能力であると委員会としては考えています。例えば、たとうまくいかなかった教育であっても、十分に振り返りができているレポートは高く評価される可能性が高いです。

FAQ（よくある質問）

■ コース後レポートと教育実践・振り返りレポートとはどう違うの？

→コース後レポートはコースで学んだ内容をもとに主に将来の教育計画について記述するのに対し、教育実践・振り返りレポートは、その教育計画を参考にしながら、主に現在自身が関わっている教育実践およびその振り返りについて記述する。同じ教育実践について記載する場合、コースで学んだ内容をもとにして教育実践が改善されているというエビデンスを示す必要がある。

Take Home Messages

- ポートフォリオを作成することで「自分の教育実践について、十分省察し、また過去の知見も踏まえつつ、医学教育学の用語を使って、他者にわかりやすく説明できるようになって」いただきたいと思います。
- 作成ガイドをよく読んで書いてください
- 結構時間がかかりますよ(^_^)